

# キッズシリーズ⑫

## 中耳炎

いたいよあ

おとちいさい?



宣言  
明るい笑顔  
すぐ返事  
伝える元気

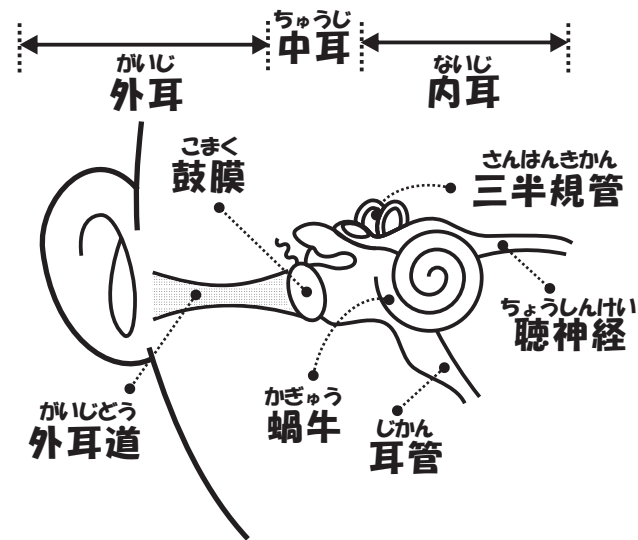
かちどき薬品 ホームページ  
げんき君 健康に関する情報がいっぱい  
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ

## 「中耳炎」どんな病気?

中耳に炎症が起こったり、液体がたまったりして、耳の痛みや発熱、難聴などが起こる病気です。

中耳炎には大きく分けて「急性中耳炎」と「<sup>しんしゅつせい</sup>滲出性中耳炎」の2種類があります。



耳の奥には鼓膜があり、鼓膜の外側が外耳、内側が内耳です。鼓膜の内側には鼻と耳をつなぐ耳管があります。耳管はふだんは閉じていますが、ものを飲み込んだり、咳やくしゃみをした時に開いて鼻から耳に空気を送ったり、また、中耳にたまった分泌液を外に出す働きがあります。

## …急性中耳炎…

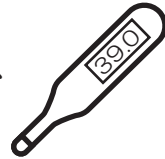
### 耳の後ろを痛がり、高熱が出る 機嫌が悪く、ぐずりながら耳をさわるのがサイン

生後6ヵ月～5才くらいまでの子どもに多く、  
原因のトップは風邪。

耳に水が入っただけでは中耳炎になりません。  
細菌やウイルスが鼻から耳管を通して侵入することで、  
起こります。風邪に引き続き起こることが多いのですが、  
急に起こることもあります。急に高熱が出て、耳の痛み  
のため不機嫌になります。鼓膜に炎症が起こり、中耳に  
膿がたまるので痛みが激しくなります。  
赤ちゃんの耳管は太くて短いので、鼻やのどについた  
細菌やウイルスが簡単に中耳まで入り込んでしまいます。  
細菌がいっぱいの黄色い鼻水を出しているときは要注意。

### <症状>-----

- 発熱(38～39度の高熱)後、急に耳を痛がる。  
⇒風邪をひいて2～5日経った頃から高熱が出て、  
急に耳を痛がり、気付くことが多いです。  
微熱程度で急に耳が痛くなることもあります。
- 鼓膜が破裂し、膿のような黄色い耳だれが出ることもあります。
- 赤ちゃんの場合は自分で痛いと言えないので、以下のようなしぐさや様子が見られたら中耳炎を疑います。
  - ・機嫌が悪い
  - ・一定の時間をおいて大泣きしたり、泣き止んだりする
  - ・夜泣きをする
  - ・ミルクの飲みが悪い
  - ・しきりに手を耳にもっていく
  - ・首を振る



## …急性中耳炎…

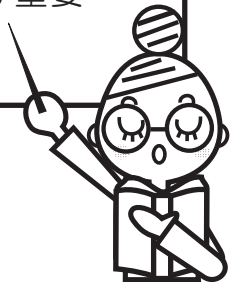
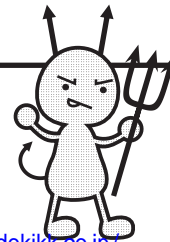
### <治療>-----

完治するまでには10日～2週間ぐらいかかります。

- 抗生物質や消炎鎮痛剤が使われます。  
⇒薬を使用すると、急性の炎症は治まり始め、痛みもやわらいでいきます。
- 膿がたまるほどひどい場合は、  
鼓膜を切開し、膿を出すことがあります。  
⇒「耳が聞こえなくなるのでは？」と心配するお母さんも多いようですが、鼓膜は7～10日程で再生するので聴力に障害が起きることはありません。  
切開して膿を出してしまったほうが、痛みや熱が取れて治りも早くなります。

症状が治まったからと通院や服薬をやめると…

中耳内に弱い病原菌や滲出液などがまだ残っていた場合、そのままにしておくと「滲出性中耳炎」に移行したり、慢性化する原因になります。  
こうなると完治するまでに数ヶ月以上もかかってしまうこともあるので、専門医に急性中耳炎が完全に治ったことを確認してもらうことが重要です。



## …滲出性中耳炎…

耳の聞こえが悪くなるが、気付かないことが多い。

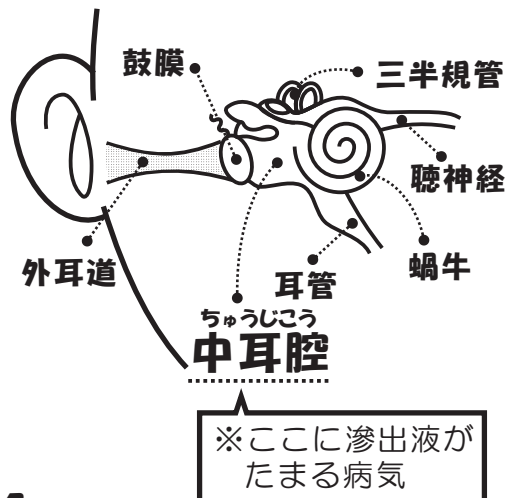
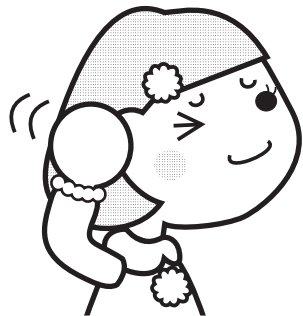
赤ちゃんよりも2～3才から学童期にかけての子どもの方がかかりやすい病気。

中耳の粘膜の炎症や耳管の働きが悪くなると粘膜から液体がしみ出してきます。この滲出液が中耳腔にたまる病気を滲出性中耳炎といいます。

赤ちゃんは耳管が太く短いため、菌が入りやすく急性中耳炎になりやすい反面、分泌液も排出しやすいのに対し、幼児はだんだん耳管が細長くなり、分泌液が排出しづらくなるので滲出性中耳炎にかかりやすくなります。

扁桃炎やアデノイド(咽頭扁桃)の化膿といった、のどの炎症が起きる病気や、耳に炎症が起きる病気の後にかかりやすい病気です。

また、急性中耳炎から移行することもあり、急性中耳炎が慢性化したり、風邪が長引いて鼻をかみすぎることによって、鼻水がジワジワと耳の方へ入っていくことも原因になります。



## …滲出性中耳炎…

### <症状> -----

急性中耳炎と違い、痛みや高熱を伴うことはありませんが聞こえにくくなります。

- 呼んでも返事をしない
- テレビのそばに近づいて見る
- テレビの音を大きくしたがる
- 耳の中が詰まったような感を訴える
- しきりに耳を触る



### <治療> -----

治療は長くかかります。  
月に1～2回は診察を受けることが大切です。

○抗生物質や抗炎症剤が使われます。

○治りにくい場合は以下のような処置をします。

- ・通気療法…耳管の開口部から空気を送って中耳腔の圧力を正常に戻す
- ・鼓膜を切開…中にたまった滲出液を取り除く  
⇒切開した傷は数日でふさがってしまうので、再び滲出液がたまってしまうこともあります。

○何度も繰り返す場合は

鼓膜に1～2ミリの切れ目を入れ、小さなビーズのような形のシリコン製のチューブをはめ込んで外耳とつなぐ方法があります。  
⇒このチューブで穴がふさがらないようにします。

# 家庭でのケア

風邪が原因でかかることが多いので、風邪のケアを怠らないことが大切です。

○風邪をひくと、鼻やのどの奥で細菌が増殖しやすいので注意しましょう。

子どもの耳管は太くて短く水平なため、中耳炎になりやすいといわれています。

○たまった鼻水はこまめに取ってあげましょう。

大人が口で吸ったり、ノーズクリーナー(鼻水を吸い取る専用のスポイト)などで吸い取るようにしてあげましょう。

○子どもがアレルギー性鼻炎の場合、放置しないことが大切です。

アレルギー性鼻炎のある子どもは、風邪をひいた時に中耳炎になりやすいと考えられています。  
風邪を長引かせないこと、鼻水が止まらない場合は放置しないことが大切です。

○耳だれがこびりついている時は、蒸しタオルで拭きましょう。

○高熱が出ている時には水分をこまめに補給しましょう。



○症状が治まりはじめても、処方された薬は最後まで飲みきりましょう。

途中で服用をやめると、慢性化する原因になります。必ず医師の指示に従ってください。

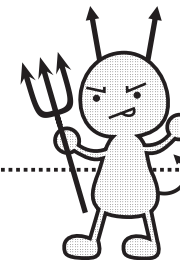


○赤ちゃんは抱っこしてあげましょう。

寝かせると頭部に血液が集まり、うっ血状態となって痛みが増すため寝かせていると泣き止まず、不機嫌になります。

○入浴は熱が下がりきるまで避けましょう。

医師の指示に従いましょう。  
また、鼓膜切開の後はお風呂等で耳に水が入らないように注意しましょう。



**注意**

**滲出性中耳炎は…**

**『発見が遅れると難聴が進んでしまうので注意』**

滲出性中耳炎は、本人も痛みやつらさを感じず、なんとなく不快という状態なので、病気を見逃してしまいがちです。しかし、発見が遅れると難聴が進んだり、治りにくくなる場合があります。日頃から、子どもの耳の聞こえの状態に注意が必要です。